第５学年　　道徳科学習指導案

１　主題名　友達と支え合う　友情・信頼　Ｂ―（１０）

２　資料名　友のしょうぞう画　（出典　光村図書「道徳」）

３　本時の指導

（１）ねらい

　　　　仲のよいという友達関係だけでなく、相手の立場や思いを理解し、相手のために自分ができることを考え、行動するという友情のあり方を知り、その思いに感動する心情を育てる。

（２）準備

　　　教師　場面絵、ワークシート

（３）関連　　光村図書「道徳」Ｂ－（２）　４年「友情・信頼」　「絵はがきと切手」

（４）　指導過程　　　　◎：中心発問　　　　形資：学習形態・資料

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 時間 | 学習活動と主な発問 | 形資 | 支援及び指導上の留意点 |
| 導入 | ３分 | １　自分と友達の人間関係を振り返る。○友達がいてよかったことを考える。・困っているとき、助けてくれた。・学校で話すのが楽しい。考えよう　友達を思う心とは、どんなものだろう。 | 一斉 | ・これまでの経験を振り返らせて、仲が良くなるきっかけを想起させることで、ねらいとする価値への関心・問題意識を高める。 |
| 展開 | 10分15分15分 | ２　資料「友のしょうぞう画」の前半部分（P95～P97）を読み、本時の「考えよう」について話し合う。（１）どうして和矢は手紙が書きづらくなってしまったのだろう。・もう友達じゃないのかな。・病気で苦しいのかな。・新しい友達がいるのかな。・資料「友のしょうぞう画」の後半部分（P97～P97）を読む。（２）◎しょうぞう画を見た和矢の目になみだがあふれたのはどうしてだろう。　・僕のことを忘れずにいてくれたんだね。・疑ってごめんね。・大切な友達だと思われていてうれしい。（３）和矢は章太にどんな手紙を書いたのか、和矢になったつもりで手紙を書いてみる。　　・病気に負けないでね。　　・今度会いにいくね。　　・何をして遊ぼうかな。 | 一斉場面絵①場面絵②個人（ワークシート）　↓ペア　↓一斉一斉場面絵➂ペア　↓ 一斉 | ・章太とぼくが手紙を出す約束をした理由を考えさせる。・手紙を書くことについて考えさせる。・友情を続けていきたい。という気持ちに気づかせる。・手紙を書くことが、相手のことを思いやることだと気づかせる。・友情が終わりかけているような不安感に気づかせる。・終わりかけていると思っていた友情が、強い絆としてつながっていた喜びに気づかせる。・どんな気もちで手紙を書いたかを話し合い、友達を思う心について考えさせる。 |
| 終末 | ３分 | ３　友達との友情を振り返ったり、今後の関係について考えたりする。４　教師の説話 | 個人↓一斉 | ・これまでの経験で、相手を思って行動したことを考えさせる。・お互いのことを想い合える友情について、具体的に考える。 |